

空気と水のテクノロジー

RYOWA REPORT

株主通信 vol.24

第63期 業績のご報告

平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日



空気と水のテクノロジー

株式会社 **テクノ菱和**

証券コード 1965



株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、テクノ菱和グループは、このたび第63期（平成23年4月1日から平成24年3月31日）の決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和
代表取締役社長 阿部捷司

Q 当期の建設業界を取り巻く環境はいかがでしたか？

A 設備投資については、東日本大震災の影響により、年度の初めには大きな落ち込みを見せましたが、その後徐々に回復基調を辿りました。しかしながら、夏場以降の急速な円高や欧州債務危機の顕在化、タイにおける洪水の影響などにより持ち直しの動きは鈍化し、力強さに欠ける状況となりました。公共投資についても、震災対応による増加が期待されましたが、予算執行の遅れから緩やかな回復にとどまりました。この結果、建設業界全体としては、競争の激化により厳しい受注環境となりました。

Q 当期の業績はいかがでしたか？

A 当期は、「営業力とコスト競争力の強化」という基本方針のもと、新規顧客の開拓に努め、環境・省エネに関する新技術の開発を促進するなど、受注の拡大に向けた施策を展開してまいりました。また、固定費の削減などコスト意識の徹底により、収益力の向上を目指してまいりました。さらに、インドネシア共和国の首都ジャカルタに駐在員事務所を設置し、今後の事業展開のための市場調査と営業活動を開始したほか、東海地方を拠点とする子会社3社を合併させるなどの施策に取り組んでまいりました。

しかしながら、建設市場が本格的な回復に至らないなかで受注競争は激化し、労務費単価の高騰もあり不採算

工事が増加したことから、工事粗利益率が低下する結果となりました。さらに当期から運用を開始した基幹システムの減価償却費用が発生したことや投資有価証券評価損を計上したこと、税制改正により繰延税金資産を取り崩したことなどにより、誠に遺憾ながら当期は損失計上という非常に厳しい結果となりました。

Q 新中期3カ年事業計画について教えてください。

A このような厳しい結果となった当期の状況を真摯に受け止め、早急に収益基盤の建て直しを図るべく、平成24年度をスタートとする新たな中期事業計画（平成24年4月から平成27年3月まで）を策定いたしました。製造業における業績回復の鈍さや工場の海外移転の増加など国内の建設市場は依然として縮小傾向にあ

| | 当期 (百万円) | 前期 (百万円) |
|-------|----------|----------|
| 売上高 | 53,365 | 47,852 |
| 営業利益 | △737 | 342 |
| 経常利益 | △560 | 503 |
| 当期純利益 | △769 | 163 |

りますが、このような環境下で当社はストック市場をターゲットとし、環境対策や省エネといった環境ビジネスの分野およびリニューアル事業に注力するとともに、海外事業を推進していくことで、最終年度（平成26年度）の連結売上高620億円、連結経常利益18億5千万円の確保を目指してまいります。

新中期3カ年事業計画

【基本事業方針】

- コア事業（空調衛生設備工事業）の収益性を改善し経営の基盤を強化する**
 - ・施主営業の更なる強化と、環境ビジネスおよびリニューアル市場への戦略的な事業展開により、他社との差別化を図り、競争に打ち勝つ強さを備えることで収益性の改善を図る。
- 周辺事業を取り込み業容を拡大する**
 - ・周辺事業へ営業の幅を広げ、施主との直接契約による受注を拡大させる。
 - ・周辺事業を展開する企業とのアライアンスやM&Aなどにより業容の拡大を図る。
- 海外事業への展開を強化する**
 - ・インドネシア（ジャカルタ）での事業を軌道に乗せるとともに、近隣の新興国への事業展開を図る。

【数値目標】

最終年度：平成26年度（第66期）

| | 単体 | 連結 |
|------|-------|--------|
| 売上高 | 560億円 | 620億円 |
| 経常利益 | 17億円 | 18.5億円 |

Q 来期の方針について詳しく教えてください。

A 来期は、中期3カ年事業計画のスタートとなる重要な1年となります。「コスト・利益意識の徹底」をキーワードとし、当期の業績悪化を真摯に受け止め、その原因を分析して早期の収益回復と外部環境の変化に対応すべく経営基盤の強化を図り、持続的企業競争力を高めてまいります。

当期は不採算工事の増加により工事粗利益率が低下したことから、工事原価を管理する部門を社長直轄にし、営業本部と共同して戦略的な受注判断を行える体制を構築するとともに、より一層の経費削減策を推し進め、コスト管理を徹底することで、更なるコスト競争力の強化を進めてまいります。また、平成21年に発足させた環境ビジネス本部を発展的に解散し、環境・省エネ分野のノウハウを培った人材をお客様と直接接することができる事業所の営業部門に配置することで、リニューアル事業などの強化を図ってまいります。さらに、駐在員事務所を設置したジャカルタを中心に周辺新興国への事業展開を図るなど海外事業を強化してまいります。

Q 来期の業績見通しを教えてください。

A 来期につきましては、建設市場の急激な回復は望めないなかでも、景気は緩やかに回復基調を辿ると思われることから、受注高は増加を見込んでおりますが、繰

越工事が当期より減少することから、売上高については若干の減収を見込んでおります。利益につきましては、コスト管理の徹底により増益を見込んでおります。

| 来期予想(百万円) | |
|-----------|--------|
| 売上高 | 53,000 |
| 営業利益 | 690 |
| 経常利益 | 820 |
| 当期純利益 | 420 |

Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A ご説明いたしましたとおり、当期は誠に遺憾ではあります。大幅な赤字を計上する事態となり、株主のみなさまには大変なご心配とご迷惑をおかけいたしました。建設市場の環境は引き続き予断を許さない状況が続くと思われませんが、来期は黒字転換を至上命題と捉え、全役職員が一丸となって施策を推し進めることで、継続的に利益を確保できる体制を構築してまいります。

当期の配当金につきましては、厳しい業績となりましたが、株主のみなさまへの安定的な利益還元を考慮しまして、期末配当金を1株につき8円50銭とし、年間では前期より1円減配の1株につき15円とさせていただきます。

このような環境下ではございますが、会社のより一層の発展に向けて全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

施工実績

ニッポー株式会社関東工場



本物件は、特に衛生面で配慮されており、各洗面器廻りでは、アルコール消毒器と殺菌エアータオルが採用されています。また、2階生産エリアにおいて、クリーンパッケージおよび定風量装置を用いたクリーンルームが設置されています。

| 概要 | |
|------|----------------------------|
| 竣工年月 | 2011年11月 |
| 施工地 | 埼玉県加須市 |
| 建物用途 | 製造施設 |
| 延床面積 | 22,029.81㎡ |
| 物件形態 | 地上3階 |
| 工事範囲 | 空調、換気、給排水衛生、消火、ユーティリティ設備工事 |



香美市新庁舎



本物件は、南海・東南海地震への対策として、屋外に緊急補給用送水口が設けられており、受水槽に補給された飲料水を自家発電で動く加圧ポンプを使って各フロアに供給できるようになっております。また、排水については、3日間備蓄できる緊急用排水槽を備えており、災害に強い庁舎となっております。

| 概要 | |
|------|----------------|
| 竣工年月 | 2011年10月 |
| 施工地 | 高知県香美市 |
| 建物用途 | 市庁舎 |
| 延床面積 | 6,409.00㎡ |
| 物件形態 | 地上5階 |
| 工事範囲 | 空調・衛生・中央監視設備工事 |



メイラ株式会社関第三工場航機工場



本物件は、航空機の機体・エンジン・操縦系統のボルトを製造する工場の増築工事です。環境汚染対策として、有害物質を除去し、きれいな空気にして大気に放出できるように、シアン・アルカリ系、クロム系、酸系および全体夜間系の4基のスクラバーが設置されています。

| 概要 | |
|------|--------------|
| 竣工年月 | 2012年3月 |
| 施工地 | 岐阜県関市 |
| 建物用途 | 製造施設 |
| 延床面積 | 4,345.00㎡ |
| 物件形態 | 地上3階 |
| 工事範囲 | 空調・換気・生産関連工事 |



特別養護老人ホーム和心



本物件は、120床を有するオール電化の特養施設です。直膨式外調機と電気式加湿機で冬の湿度管理を行っております。給湯システムには、夜間電力蓄熱方式を採用し、ヒートポンプユニットと貯湯槽を組み合わせしております。

| 概要 | |
|------|-----------|
| 竣工年月 | 2011年10月 |
| 施工地 | 神奈川県海老名市 |
| 建物用途 | 福祉・介護施設 |
| 延床面積 | 4,728.09㎡ |
| 物件形態 | 地上3階、地下1階 |
| 工事範囲 | 空調・衛生設備工事 |



テクノ菱和の技術の紹介

Vol.02

クリーンな空間、省エネルギーなどの環境問題、きれいな水づくり…
テクノ菱和の技術はあらゆる所で活躍しています。
そんな「環境のトータルエンジニアリング企業」である
私たちテクノ菱和の技術をみなさまにご紹介いたします。

Check!

湿度制御で最適な環境づくりをサポート!

低湿度技術

☆低湿度技術って何?

私たちの周りに当たり前にある空気は、水分(湿度)を含んでいます。低湿度技術とは、この水分をどんどん減らし、カラカラの空気(低湿度空気)を作る技術をいいます。製品の高品質化や品質の維持には、製造工程から製品の保管までそれぞれ最適な湿度環境を提供しなければなりません。そのために、低湿度技術が必要となります。

☆どこで利用されているの?

厳密な生産環境の制御が求められるリチウムイオン電池製造、医薬品製造、食品製造分野など多くの産業分野で利用されています。

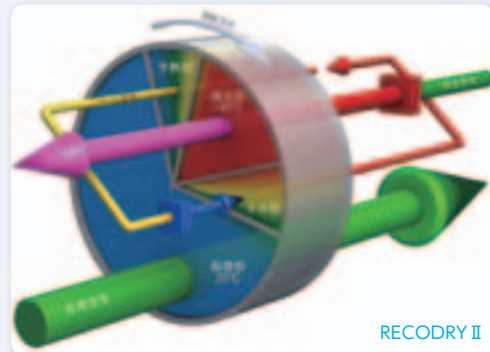
☆どうやって低湿度空気をつくるの?

湿気を嫌うのりやお煎餅の袋に入っており、水分を吸い込む吸着剤であるシリカゲルという物質を使っています。

ただし、シリカゲルに水分を吸着させるには限界があり、継続して効果を発揮するには、水分を一度追い出して、再び水分を吸い込める状態に復活させなければなりません。この解決策として、従来は温度を100℃以上に上げる方法が用いられていましたが、これでは電気代やガス代といった光熱費が高騰するほか、CO₂排出量が多くなり、これらの使用量を削減することが課題となっていました。

☆どんな製品を開発したの?

当社は、従来の半分程度のエネルギーコストで、超低湿度空気を作ることができる技術(RECODRYII)を開発しました。この技術は、特に超低湿度空気を必要とし、多くのエネルギーを消費するリチウムイオン電池製造施設での利用を見込んでいます。



News!

フレキシブルな生産に対応した低コスト型植物工場システム「菜菜グリーン」を開発しました。

当社は、植物工場の建設に際して、計画から設計・施工、施工後の栽培支援や運用のアフターフォローまでワンストップでサービスをご提供しています。



デモプラントにおける多品種同時栽培の例
(10品種/ユニット)

「菜菜グリーン」の特長は?

フレキシブルな生産に対応

野菜の品種や量にあわせて、生産システムの養液流路と光を含めた環境を制御する栽培装置、制御ソフトをパッケージ化し、多品種の同時生産と容易なメンテナンス性を実現しました。品種や量の需要が頻繁に変化するフレキシブルな生産に対応しており、年間稼働率を高めることが可能です。

コスト削減や省力化が可能

「菜菜グリーン」は、規格品や汎用品を利用し、高精度の養液管理が求められる生産ゾーンを絞り込むことで、導入コストを低減いたしました。年間稼働率の向上と運用コストの低減により、生産コストをおよそ20%削減できます。小規模から導入でき、生産環境の統合管理や遠隔監視による省力化なども可能です。



デモプラント
(当社技術開発研究所:東京・世田谷)

連結貸借対照表の要旨

| 科目 | 前事業年度 平成23年3月31日 | 当事業年度 平成24年3月31日 |
|----------------|---------------------|---------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 30,865 | 33,641 |
| 現金及び預金 | 10,436 | 9,594 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 18,856 | 22,786 |
| 未成工事支出金等 | 178 | 213 |
| その他 | 1,393 | 1,046 |
| 固定資産 | 11,589 | 11,493 |
| 有形固定資産 | 3,539 | 3,493 |
| 無形固定資産 | 1,288 | 1,156 |
| 投資その他の資産 | 6,760 | 6,843 |
| 資産合計 | 42,454 | 45,134 |

連結損益計算書の要旨

| 科目 | 前事業年度 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日 | 当事業年度 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日 |
|----------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 売上高 | 47,852 | 53,365 |
| 売上原価 | 42,066 | 48,500 |
| 売上総利益 | 5,785 | 4,864 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,443 | 5,601 |
| 営業利益 | 342 | △737 |
| 営業外損益 | 161 | 176 |
| 経常利益 | 503 | △560 |
| 特別損益 | △21 | △176 |
| 税金等調整前当期純利益 | 482 | △736 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 389 | 188 |
| 法人税等調整額 | △71 | △155 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 163 | △769 |
| 当期純利益 | 163 | △769 |

(単位:百万円)

| 科目 | 前事業年度 平成23年3月31日 | 当事業年度 平成24年3月31日 |
|----------------|---------------------|---------------------|
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 16,999 | 19,825 |
| 支払手形・工事未払金等 | 14,817 | 17,368 |
| 未成工事受入金 | 808 | 815 |
| その他 | 1,373 | 1,641 |
| 固定負債 | 757 | 831 |
| 負債合計 | 17,757 | 20,656 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 24,331 | 23,879 |
| 資本金 | 2,746 | 2,746 |
| 資本剰余金 | 2,498 | 2,498 |
| 利益剰余金 | 19,090 | 18,638 |
| 自己株式 | △4 | △4 |
| その他の包括利益累計額 | 366 | 599 |
| 純資産合計 | 24,697 | 24,478 |
| 負債純資産合計 | 42,454 | 45,134 |

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

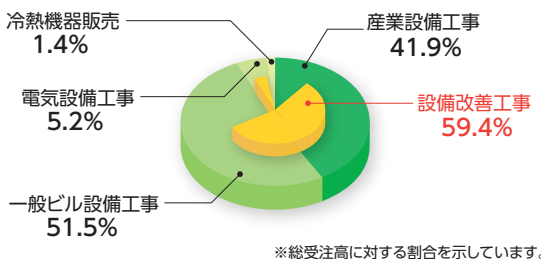
| 科目 | 前事業年度 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日 | 当事業年度 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日 |
|---------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,537 | △835 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △109 | △225 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △355 | △346 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △2,002 | △1,408 |
| 現金及び現金同等物期首残高 | 11,922 | 9,919 |
| 連結子会社と非連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増加額 | — | 319 |
| 現金及び現金同等物期末残高 | 9,919 | 8,829 |

Point

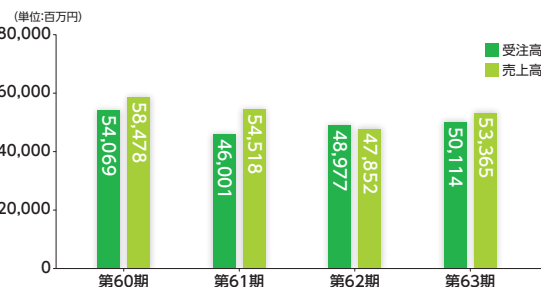
- ①特別損益
特別損失として投資有価証券評価損128百万円および和解金50百万円等を計上しております。
- ②法人税等調整額
税制改正に伴う繰延税金資産の取崩しにより、法人税等調整額が変更前と比べて129百万円増加したことが、当期純利益の減少要因となりました。

業績レポート

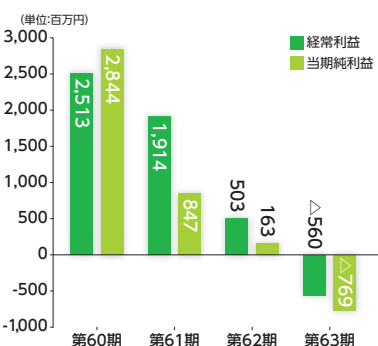
受注高構成比



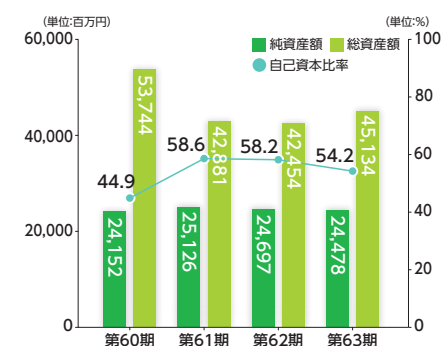
受注高・売上高



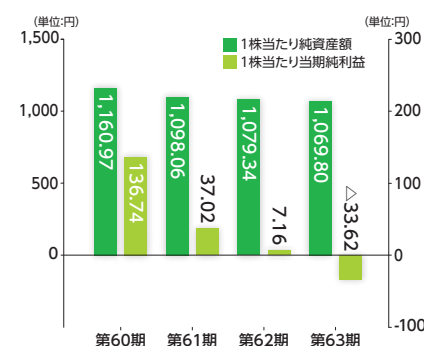
経常利益・当期純利益



純資産額・総資産額・自己資本比率



1株当たり純資産額・1株当たり当期純利益



会社概要 (平成24年3月31日現在)

商号 株式会社テクノ菱和
(英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)
設立 昭和24年12月23日
資本金 2,746,800,000円
上場 東京証券取引所市場第二部
従業員 649名(連結752名)
本社 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
登記上の所在地 東京都港区赤坂8丁目5番41号

主な事業所 技術開発研究所(東京都世田谷区)
東京本店(東京都豊島区)
千葉支店(千葉県千葉市)
茨城支店(茨城県土浦市)
東北支店(宮城県仙台市)
横浜支店(神奈川県横浜市)
名古屋支店(愛知県名古屋)
静岡支店(静岡県静岡市)
大阪支店(大阪府大阪市)
中国支店(広島県広島市)
九州支店(福岡県福岡市)

事業内容

当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業、並びにそれに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

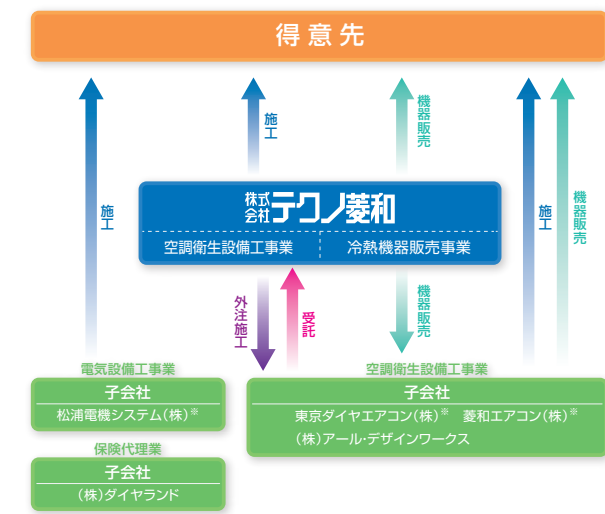
- 産業設備関連事業
清浄空間を必要とする各種製造工場や研究施設等における空調衛生設備工事を行っております。
- 一般ビル設備関連事業
事務所、学校および病院等の一般建物における空調衛生設備工事を行っております。
- 冷暖機器販売事業
設備工事に付帯する空調機などを販売しております。
- 電気設備工事業
松浦電機システム株式会社にて、電気設備工事を行っております。
- 保険代理事業
株式会社ダイヤランドにて、保険代理業を営んでおります。

役員 (平成24年6月28日現在)

| | | | | | |
|---------|---------|-----|--------|---------|--------|
| 代表取締役社長 | 阿部 捷 司 | 取締役 | 飯田 亮 輔 | 取締役 | 岡田 秀 司 |
| 常務取締役 | 黒田 英 彦 | 取締役 | 松橋 秀 明 | 常勤監査役 | 近重 次 郎 |
| 常務取締役 | 堂垣内 重 晴 | 取締役 | 知見 扶 公 | 監査役(社外) | 山田 英 雄 |
| 常務取締役 | 井尻 雅 之 | 取締役 | 永江 繁 | 監査役(社外) | 横山 真 次 |
| 取締役(社外) | 武田 公 温 | 取締役 | 濱野 豊 | | |
| 取締役 | 平松 博 | 取締役 | 根岸 孝 雄 | | |

企業集団の状況 ※連結子会社

| | |
|--------------------|--------------------|
| 東京ダイヤエアコン株式会社* | 株式会社アール・デザインワークス |
| 所在地 東京都新宿区 | 所在地 大阪府大阪市 |
| 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業 | 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業 |
| 菱和エアコン株式会社* | 株式会社ダイヤランド |
| 所在地 愛知県名古屋 | 所在地 東京都港区 |
| 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業 | 主要な事業の内容 保険代理業 |
| 松浦電機システム株式会社* | |
| 所在地 大阪府守口市 | |
| 主要な事業の内容 電気設備工事業 | |



株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。

ご優待内容

| | |
|----------------------|-------------|
| ご所有株式数1,000株以上 | 静岡の新茶2パック贈呈 |
| ご所有株式数100株以上1,000株未満 | 静岡の新茶1パック贈呈 |

ご優待品「特選茶」

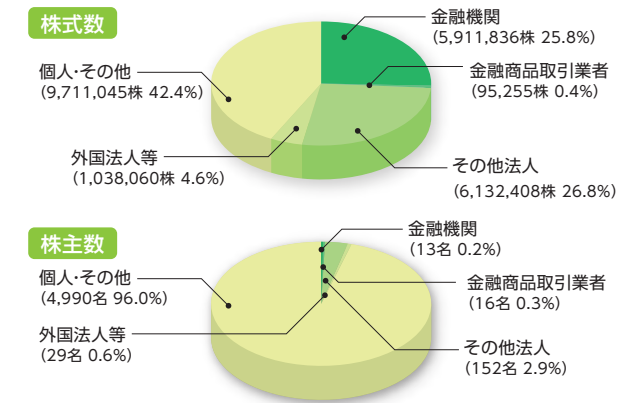
株式の状況

発行済株式の総数 22,888,604株
当期末現在の株主総数 5,200名

大株主

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|----------------|---------|---------|
| テクノ菱和取引先持株会 | 1,858 | 8.1 |
| 三菱重工業株式会社 | 1,424 | 6.2 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 1,131 | 4.9 |
| 株式会社みずほ銀行 | 1,131 | 4.9 |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 906 | 3.9 |
| テクノ菱和従業員持株会 | 865 | 3.7 |
| 株式会社名古屋銀行 | 738 | 3.2 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 734 | 3.2 |
| 株式会社京葉銀行 | 723 | 3.1 |
| 近重 次郎 | 671 | 2.9 |

株式の分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人および
特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

単元株式数 100株

公告掲載URL <http://www.techno-ryowa.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

諸手続き
お問い合わせ先 【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】

- 証券会社をご利用の株主様
お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。
- 特別口座に記録された株式をご所有の株主様
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。

【未受領の配当金について】

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替え下さい

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません(単元未満株式は除く)。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。

ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替え下さい。詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

| | |
|---------|--|
| お手続き | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| お問い合わせ先 | 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL:0120-232-711 (通話料無料) |

株式会社 **テクノ菱和**

<http://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

お問い合わせ TEL: 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ
を使用して印刷しています。

UD
FONT

